

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で19,400cells/ml、シャットネラ属が最高で29cells/ml、ケラチウム属が最高で20cells/ml確認されました。

カレニアは全ての観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。

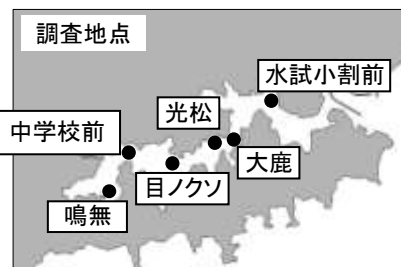
シャットネラは鳴無と目ノクソで漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。

これらは今後も増殖する危険性があります。慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	ケラチウム属	珪藻類
中学校前 透明度: 1.6m	0m	9,400	4	0	550
	2m	2,700	5	2	500
	5m	390	1	0	350
目ノクソ 透明度: 1.1m	0m	240	0	1	250
	2m	1,000	20	15	550
	5m	60	1	1	150
光松 透明度: 1.1m	0m	16,900	2	2	400
	2m	2,950	0	17	250
	5m	58	0	0	0
大鹿 透明度: 1.4m	0m	2,150	1	2	600
	2m	580	1	20	20
	5m	60	1	1	0
水試小割前 透明度: 1.0m	0m	19,400	0	4	200
	2m	1,525	1	5	150
	5m	270	0	0	0
鳴無 透明度: 2.0m	0m	6,300	21	2	
	2m	500	6	10	
	5m	27	2	0	
目ノクソ	1m	13,700	29	3	
大鹿	1m	8,000	3	20	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属:
100cells/ml(餌食いの悪化)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>